学校番号	４０５

令和２年度　芸術　［音楽］

教科	音楽	科目	演奏研究Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Joy of Music」　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ■　演奏研究Ⅰの内容をさらに発展させ、表現に必要な演奏力を習得し、演奏様式の特徴をつかむ鑑賞能力の向上をはかる。
- ■　学習の到達度は、授業で配布・回収するワークシート、実技テストで評価する。
- ■　アートスタジアムなどの演奏発表の機会を設け、音楽を人に伝える喜びを体験することで、音楽をツールとするコミュニケーション力をはぐくむ。

実技テストは、授業中に受講生の前で演奏する発表会の形式で行います。

2　学習の到達目標

音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽は様々な要素(音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア、強弱、形式、構成など)が関連しあって形づくられていることを判別し、受け入れる。	楽譜に書かれていることをそのまま再現するように演奏するだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、思いや意図をもって演奏する。	姿勢や身体の使い方、呼吸法はもちろんのこと、さらにその発声や楽器固有の音がどのような特徴をもっているのかを考え、表現に結び付けて演奏する。	様々な音楽を聴き、それぞれの音楽が持つよさや美しさを味わう。文化的・歴史的背景などの特徴から音楽経験を豊かにし、創造的なな鑑賞の力を伸ばす。
評価方法	観察 ワークシート 演奏発表	観察 ワークシート 演奏発表	観察 演奏発表	ワークシート 鑑賞の記録

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
1学期	**歌唱** 「この道」	○	○	○	○	a:より自然でのびのある発声法に関心もちち、日本歌曲に興味をもって取り組んでいる。 b:日本語の特性やその味わいをよく理解し、歌唱表現を工夫しようとしている。 c:より自然なのびのある声で歌うことができ、歌曲にふさわしい日本語の発音を意識的に取り入れている。 d:声の特性や日本語の表現をよく感じ取っている。	演奏の聴取 振りかえりシート
	器楽 〈ギター弾き歌い〉 「Tears In Heaven」 〈ピアノ連弾〉 「自由曲」 より選択課題	○	○	○		a:ギターやピアノの奏法と表現上のかかわりに関心を持ち、主体的に取り組んでいる。歌唱にも意識を向けて、意欲的に演奏をしようとしている。 b:ギターやピアノの奏法と表現上のかかわりを理解し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ギターやピアノの特徴、楽曲のリズム、フレーズのまとまり、和音や和声などによって生み出される曲想を生かした表現をするために必要な技能を身につけている。	演奏の聴取 振りかえりシート
	鑑賞 「ミュージカル探究」	○			○	a: ミュージカルでは物語の内容、登場人物の役割や心情などが声、楽器などにより表現されていることに関心をもって主体的に鑑賞しようとしている。 d: ミュージカルでは物語の内容、登場人物の役割や心情などが声、楽器などにより表現されていること、また演奏者による表現の特徴を理解して、よさや美しさを創造的に味わい、言葉で表している。	振りかえりシート
2学期	**アートスタジアムにむけて** 合唱、アンサンブル、独唱、独奏	○	○	○		a:歌唱、器楽など様々な表現形態の中から、グループ、個人で楽曲を選び、アートスタジアムのステージにむけて主体的に取り組もうとしている。 b:声や楽器の組み合わせによる表現上の効果や、音楽を形づくっている要素の働きを理解し、アンサンブルとしての調和を意識して、表現意図をもって楽曲にふさわしい創造的な工夫をしている。 c: 楽曲にふさわしい表現をするために必要な技能を身につけている。	演奏の聴取 振りかえりシート

2学期	**アレンジアンサンブル** 「Let　it　be」	○	○	○	○	a:グループで選定したコンセプトに沿って、原曲の特徴や編曲に関心をもち、イメージをもって創造的に音楽をつくろうとしている。 b:楽曲にふさわしい表現をするための表現意図をもつとともに、創作活動に生かそうと意欲的に表現の工夫をしている。 c: 旋律の創作や副次的な旋律づくり、音楽を形づくっている要素を変化させる編曲など、表現意図をに沿った創作のために必要な技能を身につけている。 d:楽曲のよさやリズムなどの表現上の効果とのかかわりを特徴を理解し、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	演奏の聴取 振りかえりシート
	器楽 箏　入門	○	○	○	○	a:日本の伝統音楽に興味を持ち、独自の楽譜を理解し、その音色を味わって主体的に取り組もうとしている。 b: 箏の音色や奏法の特徴を生かして表現するための意図をもっている。 ｃ:箏の奏法の特徴を理解し、それらを生かして表現するために必要な技能を身に付け、創造的に演奏している。 d:日本の伝統音楽における文化的･歴史的背景などの特徴と音楽を形づくっている要素とのかかわりを感受しながら味わって聴き、そのよさや美しさについて文章などでを創造的かつ主体的に表現したり意見交換をしたりしている。	演奏の聴取 振りかえりシート
3学期	**自由課題による発表** 「ラスト･ステージ」 合唱、アンサンブル、独唱、独奏	○	○	○		a:歌唱、器楽など様々な表現形態の中から、グループ、個人で楽曲を選び、音楽コースのしめくくりとして主体的に取り組もうとしている。 b:声や楽器の組み合わせによる表現上の効果や、音楽を形づくっている要素の働きを理解し、アンサンブルとしての調和を意識して、表現意図をもって楽曲にふさわしい創造的な工夫をしている。 c: 楽曲にふさわしい表現をするために必要な技能を身につけている。	演奏の聴取 振りかえりシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d: 鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。